



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場会社名 株式会社ルネサンス

上場取引所 東

コード番号 2378 URL <http://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉田 正昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 田中 俊和
最高財務責任者財務担当

TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	10,405	—	440	—	394	—	178	—
27年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 180百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第1四半期	11.95	—
27年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、平成27年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。
ルネサンス個別の当第1四半期累計期間の業績は、売上高は104億円(前年同期比3.7%増)、営業利益は4億59百万円(同54.2%増)、経常利益は4億23百万円(同69.0%増)、四半期純利益は2億7百万円(同51.9%増)となっております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	30,184	—	6,499	—	21.5	—
27年3月期	29,099	—	6,617	—	22.7	—

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 6,499百万円 27年3月期 6,617百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	10.00	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	21,500	3.8	1,100	4.0	1,000	1.0	570	0.9	38.20
通期	43,900	4.4	3,100	13.0	2,900	10.0	1,500	3.7	100.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	21,379,000 株	27年3月期	21,379,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	6,458,376 株	27年3月期	6,458,376 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	14,920,624 株	27年3月期1Q	21,378,624 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記情報)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	8
(株主資本等関係)	8
(セグメント情報等)	8
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、前第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年6月30日）におけるわが国経済は、政府主導の経済政策等により、企業収益の改善に加え、個人消費にも持ち直しの兆しがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

フィットネス業界においては、国民一人ひとりの運動意欲や健康増進意識の高まりとともに、顧客ニーズに特化した新たな小型業態が積極的に導入される等、活発な動きが続いております。

また、6月に閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針）では、財政健全化指針の中において、健康づくりに関しては、ヘルスケアポイント付与といったインセンティブ改革として取り上げられる等、健康サービス産業への期待が高まっております。

そのような中、当社グループでは、『生きがい創造企業』の企業理念のもと、“「顧客感動満足」、「従業員感動満足」の実現”を目指して運営に取り組んでおります。

当第1四半期連結会計期間末の当社スポーツクラブの在籍会員数は、フィットネス、スクール共に好調に推移し、既存クラブ（新規出店や閉店等を除く、同一条件での比較が可能なクラブ）の在籍会員数は、前年同期に比べ1.5%増となりました。さらに、“地域を健康に！”をテーマとして、スポーツクラブ周辺地域の自治体、企業や健康保険組合等の健康づくり事業の受託など、スポーツクラブ会員向けサービス以外の取り組みも積極的に推進いたしました。

当第1四半期連結累計期間における施設の状況は、新規施設として、5月に元氣ジム光が丘（東京都練馬区）、6月にバニスタ千歳船橋（東京都世田谷区）をオープンいたしました。バニスタ千歳船橋は、ボディキュットと千歳船橋を業態転換し、新たに開発した女性専用のフィットネススタジオ業態となります。また、6月より、スポーツリゾート施設のルネサンス棚倉（福島県東白川郡）の業務受託運営を開始いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の施設数は、直営107クラブ、業務受託12施設、リハビリ12施設の計131施設となりました。

既存クラブの改装及び設備更新は、5月にルネサンス青砥（東京都葛飾区）、ルネサンス名古屋小幡（名古屋市守山区）、6月にルネサンス小倉（北九州市小倉北区）において実施し、施設環境の整備と魅力向上に努めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は104億5百万円、営業利益は4億40百万円、経常利益は3億94百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億78百万円となりました。ルネサンス個別での当第1四半期累計期間の業績は、売上高は104億円（前年同期比3.7%増）、営業利益は4億59百万円（同54.2%増）、経常利益は4億23百万円（同69.0%増）、四半期純利益は2億7百万円（同51.9%増）と前年同期に比べ伸長しました。

また、当第1四半期連結累計期間における主なトピックスは以下のとおりです。

・ 健康や介護の領域で異業種連携を強化

5月に株式会社NTTドコモ（以下、ドコモ）とヘルスケア事業における業務提携に合意いたしました。

ドコモが持つ身体や健康に関わるデータを管理・活用するプラットフォーム事業と、当社が持つスポーツクラブ等を連携し、お客さまの健康増進を目的とした新たなヘルスケアサービスの提供に向けた検討を開始いたしました。昨年5月の株式会社ローソンとの業務提携を含め、健康をキーワードに、業種を超えた広範な企業連携を推進しております。

さらに、「ゆいま〜る」のブランドでサービス付き高齢者向け住宅や住宅型有料老人ホーム等を運営している株式会社コミュニティーネット（以下、コミュニティーネット）と介護領域における業務連携を開始いたしました。コミュニティーネットが持つ、生活面でのサービスノウハウと、当社が持つ介護予防・機能改善のノウハウを組み合わせ、高齢者の自立に向けた幅広いサービスの実現に向けて検討を進めてまいります。

今後も、健康寿命延伸の実現に寄与するべく、スポーツクラブ業界に限らず、健康や介護の領域における業務連携に積極的に取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

イ. 資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億84百万円増加し、301億84百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したことにより流動資産合計が5億21百万円増加したこと、今後の新規出店に伴い建設仮勘定が増加したことにより固定資産合計が5億63百万円増加したことによるものです。

ロ. 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ12億2百万円増加し、236億85百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したことにより流動負債合計が13億25百万円増加した一方、リース債務が減少したことにより固定負債合計が1億22百万円減少したことによるものです。

ハ. 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億18百万円減少し、64億99百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1億78百万円を計上したこと、前連結会計年度末配当金2億98百万円を支払ったことによるものです。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて1.2ポイント減少し21.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、本資料の公開時点において、平成27年5月11日公表の第2四半期累計期間及び通期連結業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	640,390	1,034,551
売掛金	961,353	809,201
商品	182,811	203,261
その他	1,604,551	1,863,605
貸倒引当金	△10,388	△10,277
流動資産合計	3,378,717	3,900,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,199,524	5,212,197
リース資産(純額)	6,351,951	6,275,281
その他(純額)	2,919,034	3,632,084
有形固定資産合計	14,470,510	15,119,564
無形固定資産	949,422	924,902
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,305,871	8,276,603
その他	1,995,325	1,963,215
投資その他の資産合計	10,301,197	10,239,819
固定資産合計	25,721,130	26,284,285
資産合計	29,099,847	30,184,627
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	190,822	252,662
短期借入金	400,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	2,386,000	2,300,000
未払法人税等	670,363	287,093
賞与引当金	736,099	387,167
店舗閉鎖損失引当金	—	50,332
資産除去債務	2,956	1,793
その他	4,051,158	4,884,115
流動負債合計	8,437,400	9,763,164
固定負債		
長期借入金	5,825,000	5,780,000
リース債務	6,255,805	6,185,668
退職給付に係る負債	493,913	502,464
資産除去債務	667,243	670,196
その他	803,175	783,833
固定負債合計	14,045,139	13,922,161
負債合計	22,482,539	23,685,326

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	2,756,974	2,756,974
利益剰余金	7,162,441	7,042,359
自己株式	△5,495,940	△5,495,940
株主資本合計	6,633,855	6,513,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,817	1,884
為替換算調整勘定	3,466	3,483
退職給付に係る調整累計額	△21,830	△19,839
その他の包括利益累計額合計	△16,546	△14,471
純資産合計	6,617,308	6,499,301
負債純資産合計	29,099,847	30,184,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	10,405,554
売上原価	9,469,081
売上総利益	936,473
販売費及び一般管理費	495,529
営業利益	440,943
営業外収益	
受取利息	6,809
受取手数料	27,696
その他	9,574
営業外収益合計	44,080
営業外費用	
支払利息	74,124
その他	16,261
営業外費用合計	90,385
経常利益	394,638
特別損失	
固定資産除却損	11,824
減損損失	4,182
店舗閉鎖損失引当金繰入額	50,332
特別損失合計	66,339
税金等調整前四半期純利益	328,299
法人税、住民税及び事業税	247,320
法人税等調整額	△97,352
法人税等合計	149,968
四半期純利益	178,330
親会社株主に帰属する四半期純利益	178,330

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成27年4月1日
至平成27年6月30日)

四半期純利益	178,330
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	66
為替換算調整勘定	17
退職給付に係る調整額	1,990
その他の包括利益合計	2,074
四半期包括利益	180,405
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	180,405
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。
 なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
減価償却費	471,910千円
のれんの償却額	3,654千円

(株主資本等関係)

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月26日 取締役会	普通株式	298,412	20.00	平成27年3月31日	平成27年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11.95円
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	178,330
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	178,330
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,920

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。